

平成20年 1月

万代真理 学位論文審査要旨

主 査 山 田 一 夫
副主査 入 澤 淑 人
同 村 脇 義 和

主論文

Association of functional gene polymorphisms of interleukin- 1β and transforming growth factor- $\beta 1$ with the progression of liver fibrosis in Japanese patients with hepatitis C virus-related chronic liver disease

(日本人でのC型慢性肝疾患の肝線維化進行とIL- 1β 及びTGF- $\beta 1$ の機能的遺伝子多型との関連)

(著者：万代真理、村脇義和、岡本欣也、大谷英之、前田直人、湯浅勲)

平成19年12月 Yonago Acta medica 50巻 89頁～97頁

審査結果の要旨

本研究は、炎症性サイトカインであるIL-1 β とその制御因子IL-1RN、及び線維化促進性サイトカインTGF- β 1の機能的遺伝子多型と、C型慢性肝疾患での肝線維化の進展との関連について、横断的及び縦断的に検討を行ったものである。その結果、日本人では各多型と肝線維化の進展との間に有意な関連がないことを明らかにした。本論文の内容はC型慢性肝炎患者でのテーラーメイド医療の分野で明らかに学術の水準を高めたものと認める。